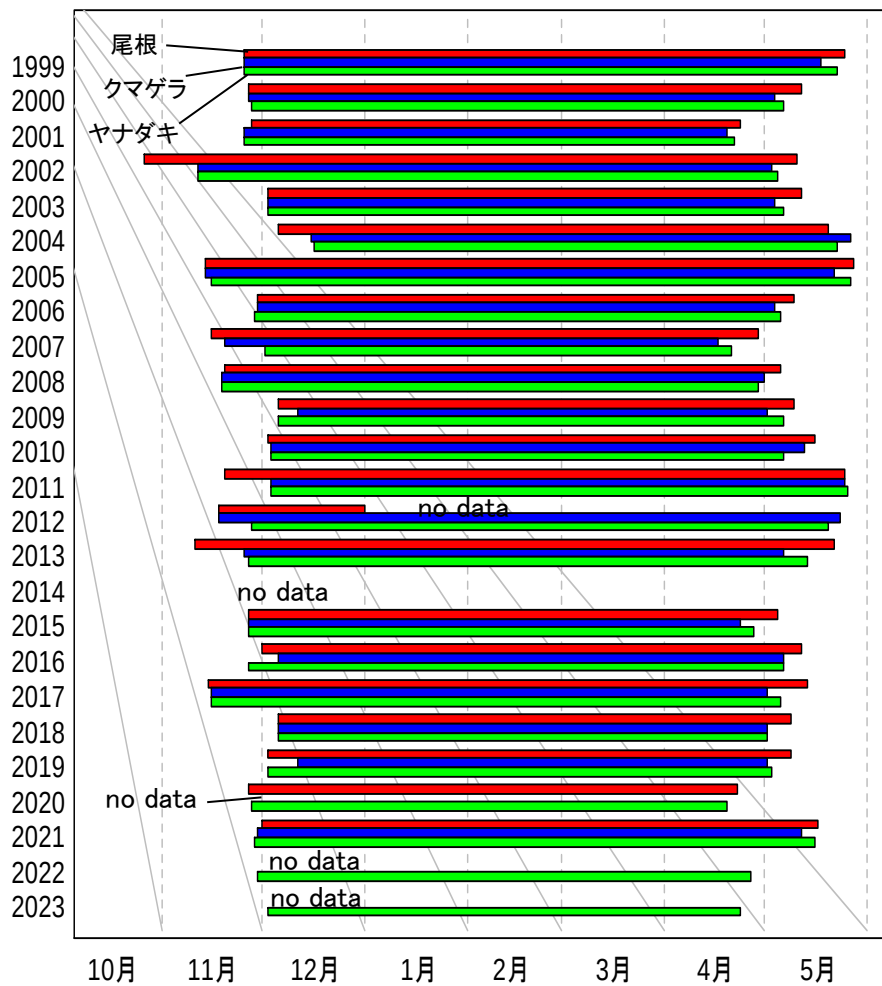
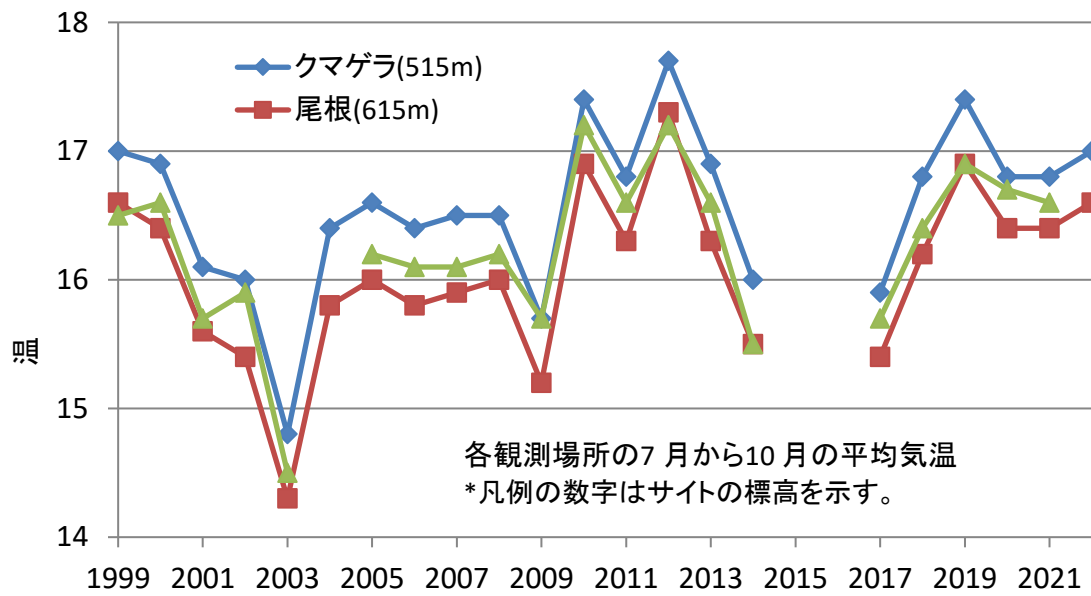


ID ^{注1)}	241104	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	231104
報告書名称 / 調査名称	令和5年度 世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査／気象調査							発行年月/報告年月	
								2024年	11月
								資料形式 ^{注2)}	—
調査機関	世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会・環境省東北地方環境事務所			委託機関					
調査開始年	1999年	6月	調査期間	1999年	6月	～	2024年	11月	
調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	通年					
モニタリング計画	2022年7月	策定	区分 ^{注2)}	I	大区分 ^{注2)}	1	小区分 ^{注2)}	(2)	
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法					
☒ 核心地域 ☐ 緩衝地域 ☐ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり  ※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。				☐ 調査項目 森林微気象 ☐ 調査箇所数 遺産地域内3箇所（ヤナダキサイト、クマゲラサイト、尾根サイト） ☐ 調査手法 各サイトの地上1.5mにおける気温と湿度および地温（リター層直下の地表面温度）を測定した。気温と湿度の観測には、支柱に取り付けたソーラジェーションシールド内に収納したデータロガー（Hobo Pro rh/temp、Onset 社）、地温の観測には小型温度計測用ロガー（Tidbit、Onset 社）を3サイトで2012年までそれぞれ2台ずつ、2013年からそれぞれ1台ずつ設置して測定した。気温と湿度の観測は毎年6月から11月までの間1時間毎の測定を行い、冬期間は降雪や雪崩等による破損や紛失を回避するため撤収した。地温の観測は1時間毎で通年で行った。					
結果概要（スペースに収まるように入力してください）									
2023年のモニタリング調査の全日程が中止となり、2022-2023年の積雪期間のデータが入手できていなかったが、2024年春にモニタリング調査を実施し2年分のデータを回収した。しかし、尾根サイト、クマゲラサイトのロガーが回収できなかったため、2サイトの地温は欠測となった。 7月～10月における気温の平均値（以下夏季平均気温）を遺産地域のサイト間で比較すると、24年間の平均値でクマゲラサイトが最も高く16.6度であった。ヤナダキサイトの夏季平均気温の平均地は、16.2度で、尾根サイトは、16.1度であった（欠測年除く）が、尾根サイトがヤナダキサイトを上回る年もあった。なお、2015年と2016年は、調査地へのアクセス道路が閉鎖されていた事によりデータロガーの設置がそれぞれ、9月と7月末となったため、7月から10月の平均気温は算出しなかった。									
問い合わせ	世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会 事務局長 石橋史朗 bunamoni.2002@gmail.com 《原本（データ）の帰属について》								

備 考



3ヶ所のサイトにおける積雪期間の年次比較